



フジバカマ

12月



【学校教育目標】自分を創る子 ~自ら学ぶ子 心豊かな子 きたえる子~

ズルって何だろう？

校長 杉本 功

乾いた風が少しずつ冷えていくので、季節が本格的な冬に向かうのを感じています。子どもは大人よりもそうしたことに敏感で、時々すばらしい感覚でとらえたことを口にします。作家の辻村 深月氏は、小説「かがみの孤城」で、主人公の「こころ」という中学1年生の女子生徒が、「**雨のにおいがする**」と友達の前で言葉にするとところを書いていますが、すると周囲の子たちは、その口真似をしながらにやにやと笑います。こころは激しく後悔して、**学校というところは、そんな正直なことを言てはいけな場所だったのだと、絶望的に気づいた。**と描写しています。氏は主人公がなぜ周囲の子たちに笑われたのか？について、一つの考えを持っていましたが、改めて小説を読み返して、登場人物たちにはそれとは別な感情があったかもしれないと気づいたことを、次のように述べています。

『以前は、クラスメートたちは自分たちに理解できないこころのことを笑うことで、取るに足らない存在だと思って安心しようとした—と考えていましたが、こころを笑った子たちが作者の私に対して、「**私たちが笑ったのは、あの子が【ズルい】からだ**」。そんな声が聞こえてきた気がしました。』

子どもたちの日常には、些細なからかいなどをきっかけにして、このような仲間外れが起きることがあります。そんな時我々は、「人を笑うのはいけないこと」と指導しています。しかし、**【ズルい】**という感覚は何なのだろう…と、私はとらえ方に困りました。でも、辻村氏の説明に触れて、「そういうことなのか」と思いました。氏は次のように述べています。

『季節の中に、草木や雨、地面の匂いを感じ、それを素敵な言葉で表現する。こころはそれができる子です。ではクラスメートたちがその感性を持っていないのかというと、そんなことはありません。みな同じ感性を持っているけれど、口にすれば笑われるし、からかわれる。だから自分の言葉を飲み込んできたし、目立たないように気を付けてきた。自分たちが我慢してきたことを、無邪気にやって見せる子がいる。「みんながしない」という暗黙のルールを破ったところを、クラスメートたちは無意識に**【ズルい】**と思ったのではないか。あの子は**【ズルい】**。だから**【ひきょう】**。あの子に非がある。そんな子なら笑ってもいい。笑った私たちは悪くない。』こころのクラスメートたちはそんなふうに思ったのかもしれない。

これはつまり、クラスメートたちは「何なら自分だってそうできるのに、こころは何も考えず、無邪気に先にそれをやってしまった…」と、思っていたということです。**【ズルい】**という感情をこのように改めて指摘されると、子どもの世界でも大人の世界でも、実はいたるところで見られるものだということに気づきます。氏はさらに続けます。

『「いいな」と羨ましがったり、憧れたりする気持ちは誰にでもあります。しかし、そこから一歩進んだ**【ズルい】**は、相手に対して踏み込んだ印象のある言葉です。相手の状況や状態に加え、自分が相手を見たときの思いや気分が多く乗った言葉だということに、書いていると思ひ当たります。』氏が考えた**【ズルい】**は、実に複雑な心情を表す表現でした。

作品の中に登場するさまざまな人物の心情を、巧みな表現で小説にしている作者も、改めて読み直してみると、自分が表現したことが**【ズルさ】**だったのでは？と考えています。すると、こんなふうに考えてしまいます。子どもたちにはこのようなやり取りが日常的にあります。日常的にあるということは、子どもたちは瞬間的な関わりの中で、このような**【ズルい】**という感覚で、周りの友達をとらえていることがあるのではないのか…と。

氏が述べた**【ズルさ】**は、誰かを狡猾にだますような本当のズルさとは違う感覚です。子どもたちが誰かに対して「**【ズルい】**。それならこんなふうに言ってもいい—。」のような気持ちになったとき、私たちは自分の感覚ですぐにNGだと指導するのではなく、一緒に立ち止まって、『**【ズルい】**の正体は一体何なのだろうね』と考えてあげる。すると、子どもたちは振り返って、自分たちがもっている感覚や考え方の危うさや脆さに気づく…。そういうことが必要なのだと思いました。なかなか難しい問題です。大人には、ますます複雑になっている子どもたちの心情を理解できるように、アップデートが求められているのだと思いました。

お知らせ

12月 個別面談実施について

日時 令和6年12月2日（月）～6日（金）
午後2時45分～午後4時25分まで

★今月は24日の終業式以外はB日課になります。

個人面談期間は、5時間授業です。

（右行事予定参照）下校時刻は14：20頃になります。

★面談の予定表は11/5に配布していますのでご確認ください。

★昨年度と同様に個別面談でお子様の学校生活の様子をお伝えすることをもって、2学期通知表の所見に代えさせていただくことを申し添えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

学校で着用するお子様の名札について

北越谷小学校の児童は、校内において氏名の記載された名札を着用しております。今後、さらなる名札の着用をめざし、教室内に名札を置いて下校し、登校時の朝に名札を着用して校内での生活をするルールとしました。まだ、お子様の名札をお持ちでないご家庭は、ご購入していただきお子様の名札の着用にご協力くださりますようお願いいたします。

購入先：中田スポーツ 越谷市北越谷2-19-14
TEL048-974-8096



冬季休業中における

「留守番電話機能付き電話」の設定について

【留守番電話設定期間】

令和6年12月25日（水）～令和7年1月6日（月）

【留守番電話機能作動時刻について】

- 平日：勤務時間（午前8：20から午後4：50まで）
上記以外の時間帯は留守番電話作動
- 土日・祝日・年末年始休業日（12月29日～1月3日）終日
留守番電話作動

【緊急時の電話対応】

平日の午前8：20から午後4：50まで、学校の教職員が電話対応しますが、勤務時間外の電話対応はいたしません。教育センターでの対応もいたしませんので、ご了承ください。※事件や事故・不審者情報等ございましたら、まずは警察・消防へ状況の詳細を連絡していただき、その後、学校にもご連絡くださりますようお願いいたします。



行事予定

日	曜	
1	日	
2	月	B日課 個別面談① 5時間授業
3	火	B日課 個別面談② 5時間授業 集金日4000円（教材費）
4	水	B日課 個別面談③ 5時間授業 4年生 児童館コスモス見学 3年生 スーパーライフ 出前授業
5	木	B日課 個別面談④ 5時間授業
6	金	B日課 個別面談⑤ 5時間授業 学校運営協議会
7	土	北越谷小学校クリーンパトロール
8	日	
9	月	B日課 書初め競書会 あいさつ運動（中学生参加）
10	火	B日課 保護者向け学校評価アンケート配布
11	水	B日課 委員会（2学期最終） 3・5年生ミラクル講座
12	木	B日課 1・2年生4時間授業
13	金	B日課 1・2年生4時間授業
14	土	
15	日	
16	月	B日課 1・2年生4時間授業
17	火	B日課 1・2年生4時間授業
18	水	B日課 1・2年生4時間授業 スクールカウンセラー来校
19	木	B日課 1～5年生4時間授業
20	金	B日課 4時間授業
21	土	
22	日	
23	月	B日課 4時間授業 給食最終日
24	火	A日課 3時間授業 終業式
25	水	冬季休業日 12/25～1/6まで
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	



【教材費の集金について】

11/29（金）に集金袋を配布しますので、12/3（火）にお子様に集金袋を持たせてくださいますようお願いいたします。また、おつりのないようご協力ください。